

## 宮城県復興まちづくり通信

Vol.28

平成28年12月発行

宮城県土木部復興まちづくり推進室



## トピック

## 1. 復興交付金 交付可能額通知(第16回目)について

平成28年12月1日に復興庁から復興交付金に係る第16回目の交付可能額が通知されました。

復興交付金は、県内の各市町へ約382億円(国費ベース)配分され、このうち国土交通省所管事業では、石巻市蛇田字下中埠地区外4地区の災害公営住宅整備事業で新規に事業費が配分されたほか、気仙沼市南町海岸地区商業施設についても新規に調査設計費が配分されました。

配分額の大きい事業種別は、「災害公営住宅整備事業」、次いで「災害公営住宅家賃低廉化事業」、「道路事業」、「下水道事業」、「津波復興拠点整備事業」の順となっています。

県事業分を含む(単位:億円)

市町名	第15回までの交付可能額計		第16回交付可能額		合計		備考
	事業費	国費	事業費	国費	事業費	国費	
気仙沼市	3,317.4	2,679.7	11.3	8.4	3,328.7	2,688.1	沿岸部 (15市町)
南三陸町	1,352.5	1,102.1	29.8	22.5	1,382.2	1,124.5	
石巻市	5,007.1	4,064.4	196.4	162.5	5,203.6	4,226.9	
女川町	1,508.2	1,199.2	65.1	53.4	1,573.4	1,252.6	
東松島市	1,923.2	1,539.9	15.0	11.3	1,938.2	1,551.2	
松島町	220.2	169.4	12.6	9.6	232.7	179.0	
利府町	76.0	58.6	0.4	0.4	76.4	59.0	
塩竈市	658.2	513.0	-	-	658.2	513.0	
七ヶ浜町	417.0	337.9	2.7	2.0	419.6	339.9	
多賀城市	513.3	412.1	23.8	18.5	537.1	430.7	
仙台市	2,371.7	1,971.2	0.3	0.2	2,372.0	1,971.4	
名取市	996.4	794.0	32.8	23.9	1,029.2	817.9	
岩沼市	895.5	704.2	9.5	7.1	905.0	711.3	
亘理町	837.9	665.3	15.3	11.5	853.2	676.7	
山元町	950.0	755.8	67.3	50.5	1,017.3	806.3	
大崎市	6.5	5.5	0.4	0.3	6.8	5.8	内陸部
計	21,050.8	16,972.2	482.6	382.1	21,533.5	17,354.3	

※端数処理により合計と一致しない場合があります。

## ■復興まちづくり事業の配分額および全体事業費との比較(事業費ベース:億円)

事業種別	市町数 地区数	全体 事業費	第15回まで計	第16回配分額	第16回まで計	配分率
被災市街地復興土地区画整理事業	2市町 2地区	1,914.3	1,524.9	10.9	1,535.8	80%
津波復興拠点整備事業	3市町 3地区	594.7	542.9	22.2	565.1	95%

※防災集団移転促進事業については全市町で申請なし。

## 2. 復興まちづくりの進捗状況について

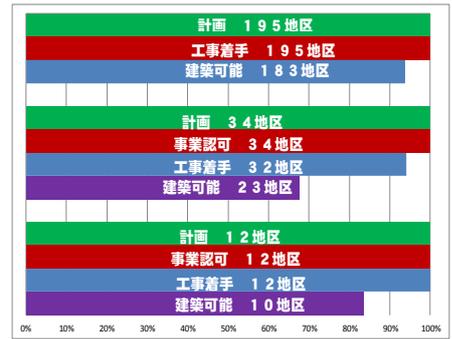
### ■復興まちづくり事業の進捗状況について

**防災集団移転促進事業**については、計画地区数195地区の全地区において工事に着手し、住宅等建築可能地区は183地区（約94%）となっています。

**被災市街地復興土地区画整理事業**については、計画地区数34地区のうち、工事着手は32地区（約94%）、住宅等建築工事可能（使用収益開始）地区数は、23地区（約68%）となっています。

**津波復興拠点整備事業**については、計画地区数12地区の全地区において工事着手し、住宅等建築工事可能（供用開始）地区は10地区（約83%）となっています。

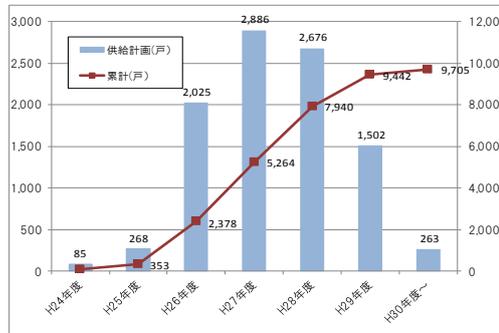
各事業の進捗状況（H28.10末時点）



### ■復興庁より民間住宅等用宅地及び災害公営住宅の整備工程をまとめた「住まいの復興工程表」（平成28年9月末現在）が平成28年11月14日に公表されました

◇沿岸市町の民間住宅等用宅地は全体計画9,705戸のうち、平成28年度末で7,940戸（82%）、平成29年度末で9,442戸（97%）が供給される見込みとなっています。

◇民間住宅等用宅地の整備に係る進捗状況\*



◇災害公営住宅の整備に係る進捗状況



◇沿岸市町の災害公営住宅整備は全体計画15,635戸のうち、平成28年度末で13,432戸（86%）、平成29年度末で15,116戸（97%）が供給される見込みとなっています。

\*民間住宅等用宅地とは、防災集団移転促進事業、土地区画整理事業及び、漁業集落防災機能強化事業により整備された宅地をいう。

## 復興まちづくり推進室の取組

### 東京都内でパネル展を開催しました！

当室では宮城県の現在の復興の様子を広くお知らせするため、被災した沿岸15市町の協力を得ながら「みやぎの復興まちづくりパネル展」を行っています。

今年度は、平成28年11月16日～18日に昨年度に引き続き、東京都庁第1本庁舎南展望室において開催したほか、平成28年11月5日～6日に東京都江東区青海において開催された「みやぎフェスタ@MEGAWEB」に出展しました。



みやぎフェスタ@MEGAWEBの様子



東京都庁第1本庁舎での様子

国内外問わず多くの方にご来場いただき、宮城県の現在の姿を知ってもらいたいきっかけとなったほか、私たち職員も大きな力をいただきました。

今後とも、震災の記憶の風化防止と全国からの御支援に対する感謝の気持ちを込め、沿岸市町と連携しながら「みやぎの復興まちづくりパネル展」を開催していくこととしています。

## ◇ 各地域の動き

### 岩沼市 「臨空西原産業用地」の分譲について

岩沼市では、東日本大震災により壊滅的な被害を受けた沿岸部から玉浦西地区に集団移転を行いました。その移転元地の一つである相野釜（西原）地区は、震災前は住宅や農地、事業所が混在している地区でした。同地区は仙台空港岩沼臨空・矢野目工業団地に隣接し、仙台空港や仙台東部道路のインターチェンジに近いことから、被災者の雇用確保と産業復興の推進を図るために土地区画整理事業により、点在する移転元地等の集約及び街区の再編を行い、新たな産業集積地区としての整備を進めています。

平成28年5月から、2.5ha（4区画）の公募を開始し、農業資機材卸や物流の企業など3社の立地が決定しています。

今後は、企業立地奨励金などにより立地企業を支援することで産業の復興を推進するとともに、被災した沿岸部の積極的な土地活用を図っていきます。



西原地区

岩沼市 復興創生課

## ◇ 市町からのたより

### 1. 南三陸町 新商店街の新築工事が始まりました

南三陸町では、「南三陸町まちなか再生計画」を策定し、志津川、歌津両地区において賑わいづくりの拠点となる商店街づくりを進め、町民の皆さんの利便性の確保、交流人口の拡大等を図ることとしています。

その中心となる商店街は「株式会社南三陸まちづくり未来」が事業主として建築を進めています。志津川地区は、平成28年7月から工事が始まり平成29年3月のオープンを目指しています。また、歌津地区においては、平成28年10月に工事が始まり平成29年4月のオープンを目指しています。

南三陸町 産業振興課



志津川地区（イメージ）

歌津地区（イメージ）

提供：隈研吾建築都市設計事務所

### 2. 石巻市 “新生” 夜間救急センターがオープンしました

震災前、南浜地区にあった石巻市夜間急患センターは、津波により診療の継続が困難となり、仮施設で診療を余儀なくされてきました。このため、平成27年9月より、石巻蛇田地内の石巻赤十字病院敷地内に再建を進めてきましたが、平成28年12月1日（木）午後6時にオープンいたしました。

同センターでは、入院や手術を伴わない夜間の急病患者などに対する応急的な診療を担い、今年9月に石巻駅前で診療を開始した石巻市立病院と共に、地域のみなさまに地域医療における安全と安心を提供してまいります。

石巻市 復興政策課



オープンした夜間救急センター

### 3. 東松島市 「野蒜ヶ丘団地」新街の門出 福幸まつり開催

防災集団移転団地「野蒜ヶ丘団地」の公共施設の完成や宅地引き渡しの完了を祝し、「ひがしまつしま福幸まつり」が11月20日に開催されました。

本団地は、平成24年11月に着工し、91.5haの山林から大量の土砂を運び出すため巨大ベルトコンベヤを設置し、造成工事期間の短縮を図りました。

また、宅地引渡し式が、今年5月、9月に引き続き行われ、野蒜駅周辺の東部エリア、中央エリアの92区画の引渡しにより、同地区の全278区画を含め、市全体で717区画すべての宅地引渡しが完了しました。

福幸まつりには、市内外から約1万3千人が訪れ、蒸しガキ3千個の振る舞いや地場産品、友好都市の特産品を販売する約60店が並び、訪れた方々は、思い思いにまつりを堪能し、新しい街の誕生を祝いました。

野蒜ヶ丘地区集団移転宅地引渡し式の様子



東松島市 復興政策課

### 4. 名取市 増田防災広場が完成しました

名取市増田地区で整備していた「増田防災広場」が10月31日に完成しました。

11月6日には地域住民約70人が参加し、防災広場での防災訓練が行われました。訓練は震度6強の地震が発生したという想定で、防災広場に備わっている「災害用トイレ」、まきを燃料に煮炊きができる「かまどベンチ」や災害時に救護所などとして使用できる「防災パーゴラ」などの組み立て方法などを確認しました。

名取市 復興調整課



「防災パーゴラ」の組み立て状況

### 5. 山元町 新市街地まちびらきを開催しました

平成28年10月23日、つばめの杜・新坂元駅周辺両地区のスタートを祝う「新市街地まちびらき」が開催され、約5,000人が訪れました。

式典には、これまで復興を支えていただいた派遣元自治体の首長やボランティア団体等が出席し、齋藤町長よりこれまでの支援に対する感謝の意が伝えられ、町民とともに新しいまちの始まりを祝いました。

また、両会場では、特産のホッキ貝と米粉ワンタンを使った新名物の振る舞いや、地元飲食店の出店ブースが設けられ、地域の音楽サークルによるステージイベントが行われたほか、JR山下駅・坂元駅など市街地の新しい施設をめぐるスタンプラリーも実施され、来場者を楽しませていました。

山元町 震災復興企画課



「新市街地まちびらき」でのテープカットの様子

○問い合わせ先 宮城県土木部復興まちづくり推進室  
〒980-8570 仙台市青葉区本町3丁目8-1  
TEL 022(211)3207  
FAX 022(211)3295  
e-mail [fukumachi@pref.miyagi.jp](mailto:fukumachi@pref.miyagi.jp)  
HP <http://www.pref.miyagi.jp/fukumachi/>